

令和8年度 調布市立第五中学校 学校経営計画（学校長 中谷 愛）

学校の教育目標	
「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
目指す学校像「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校」	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	調布市教育委員会が目指している「子供一人一人を大切に教育の実現」に向けて、本校では、義務教育最終段階の教育課程で、持続可能な社会の創り手を担う「人」の育成に重点を置くとともに、生徒が自分の力を最大限発揮できる環境を創り、生徒の学びを支えていく。
中期的な経営目標	
①	教育目標「思いやりと助け合う心をもとう」の実現に向けた、人権教育を基盤とした教育課程の編成・実施
②	教育目標「自ら学ぶ人になろう」の実現に向けた、「教えて考えさせる授業・五中スタイル版」の確立・実施
③	教育目標「心と体を鍛えよう」の実現に向けた、各種学校行事の発展・充実
④	コミュニティ・スクールとしての「地域とともに歩む学校づくり」の実現に向けた、地域を活用した人材支援の拡充
⑤	第五中学校区の小中学校間の円滑な接続による教育活動の発展・充実
⑥	持続可能な社会の創り手の育成に向けた総合的な学習の時間の発展・充実
人・組	個々の教職員が希望するキャリア形成の実現・協働する教職員集団「チーム五中」による教育活動の推進

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 「お話タイム」(水曜日朝実施) + 各学級対象道徳授業の実施 (年間)	① 五中授業スタイルに「教えて考えさせる授業」の各指導段階を焦点化した分科会による研究 (校内研究年8回)	① 仲間意識を高める体育大会 (5月)・合唱コンクール (10月)・学習成果発表会 (3月) 等の全校体制での実施
② 週1回の学校いじめ対策委員会 (年間)	② 東京都教育委員会が指定する指導教諭の授業活用 (全教科実施)	② 健康・安全教育の充実 (体力向上・避難訓練・研修の充実等)
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 生徒アンケート「いじめはどんなことがあってもいけない」肯定的回答 (目標: 100%)	① 生徒アンケート「授業を通してできること、わかったことが増えている」肯定的回答 (目標: 100%)	① 生徒アンケート「学校行事は楽しく充実している」肯定的回答 (目標: 100%)
② いじめ認知後 3 か月経過時点での解消率 (目標: 100%)	② 生徒アンケート「意欲的に授業に取り組んでいる」肯定的回答 (目標: 100%)	② 生徒アンケート「自ら健康・安全を保持する習慣を身に付けている」肯定的回答 (目標: 100%)
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 CSとの協働・特別支援教育の推進	5 小中連携・ICTの推進	6 「総合」の充実・キャリア教育の推進
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 生徒への個別支援・外部人材の講師による学習の機会等に関する情報発信	① 第五中学校地区 (第三小・飛田給小・多摩川小・富士見台小・第五中) における小中合同の研修の実施 (定例2回 + オンライン研修等の実施)	① 職業調べ学習、職場体験、上級学校訪問等自らの生き方や将来を考える学習の実施
② 週1回の校内支援委員会 (年間) による生徒の学びの支援についての協議 (特別支援教室の活用等)	② ICT (iPad の新規導入による) 活用の学習指導の研究・小学校から中学校への引継ぎ方法のシステム化の研究等 (定例2回 + オンライン研修等の実施)	② JICA 交流授業、留学生が先生プログラムの実施 (国際理解教育の充実)
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① すぐーるによる情報発信並びに保護者会開催の延べ回数 (目標: 20回・・・月2回程度)	① 教員アンケート「思考ツールやICTを定期的に活用し、「思考・判断・表現」の資質能力を育成することができた。」肯定的回答 (目標: 100%)	① 生徒アンケート「自分の将来を考えるきっかけとすることができましたか。」肯定的回答 (目標: 100%)
② 不登校出現率 (目標: 6%以下)		② 生徒アンケート「国際理解教育は充実していますか。」 (目標: 100%)

人材育成・組織運営
<人材育成>
① ミニ研究授業 DAYS (一人が各学期1回以上の他教科の授業参観) や校内研修 (お話タイム・研究授業等) の充実
② 指導教諭公開授業、東京教師道場、東京都研究員等東京都教育委員会研修制度の積極的活用
③ 初任者研修、2・3年次研修、中堅教諭等資質向上研修等悉皆研修の成果還元工夫
④ 昇任に係る制度の着実な周知と個々の教職員のキャリアアップ支援
<組織運営>
① 速やかな意思決定・伝達と全教職員による各分担の確実な業務執行 (活発なコミュニケーションを通じた共通理解と効率の向上)
② 主幹教諭を中心とした学校全体の業務遂行プロセスの見える化・持続可能な組織の構築 (経営支援部による校務マニュアル化)
③ 各分掌における主任のリーダーシップの強化 (分掌内・調整委員会の会議運営工夫)